

大人の地域再発見誌

vol.15

こうのす

2 特集「中山道・鴻巣宿を歩く」

7 こうのす人 高橋 亜紀さん

8 編集部のおススメ本「宮本常一が撮った昭和の情景 上巻」

9 私の好きなこうのすの風景

10 こうのす歴史散歩「中山道鴻巣宿の地名を探す =町名板のお話=」

10 編集部より

題字
執筆

第48代 勝願寺住職
藤田得三氏

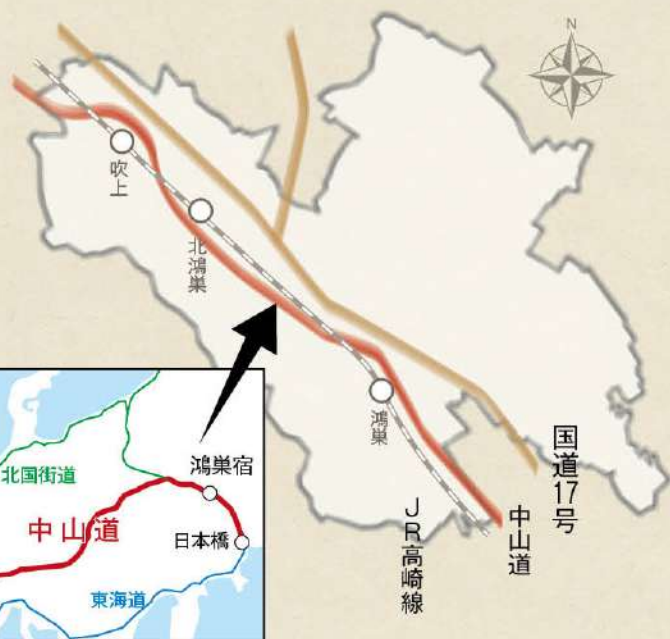
表紙
写真

夏祭りの夕暮れ
中山道

中山道・鴻巣宿を歩く

中山道は、江戸幕府が古代の東山道の道筋を慶長 6 年（1601年）から 7 年かけて整備した大幹線道路です。江戸・日本橋から京都・三条大橋まで全長 534 kmの街道です。途中、木曽谷などの険しい山間を抜けるので「中山道」と呼ばれます。鴻巣宿は、もともと現在の北本市にあった鴻巣宿を 4 キロ北の現在地に移したことで始まりました。江戸から数えて 7 番目の宿場町です。14 代将軍徳川家茂に嫁いだ和宮が関東下向の際に通行した道。ひな人形の制作と伝統と歴史を感じる道。古刹を巡るもよし、歴史的建造物を巡るもよし、本特集で街道歩きをお楽しみください。（真鍋 透）

江戸幕府は、畿内と東国を結ぶ主要道路を 3 つ整備しました。太平洋側に**東海道（53次）**、日本海側に**北国街道**、そして山間を行く**中山道（69次）**。険しい山間を通るので、宿場間の距離が短く宿場の数が多いことが特徴です。江戸からの中山道を使って、桶川の紅花、鴻巣のひな人形、忍の足袋などの流通が盛んとなり、それらの職人や商人を対象にした旅籠が多く存在しました。



暴れ神輿で知られる。山車が見られる。



いぼ地蔵尊

吹上神社

一口メモ
いぼ地蔵
江戸時代に、尼僧・妙蓮が建立した地蔵尊。線香の煙から出る黒ヤニをいただいて「いぼ」に付けると、不思議なことに「いぼ」がとれるのだそうです。

いぼ地蔵尊

明治天皇
行幸記念碑



明治天皇が北陸東海巡行の際、三条実美を伴い休息した。

吹上駅前

中山道観光案内板



JR 吹上駅

吹上本町

吹上本町の道標



八王子同心街道



赤レンガ水門（明治38年）

一口メモ

権八地蔵
歌舞伎の演目にもなった、鳥取藩士・平井権八が起こした強盗殺人事件の現場には一体のお地蔵さんが。権八は、他言をしないようにお地蔵さんに頼みます。するとお地蔵さんが返事をしたのです。「我は言わぬが汝言うな（私は言わないけど、お前も言うなよ）」と。



権八地蔵堂



東曜寺

一口メモ

東曜寺住職の仲裁
加賀藩の大名行列と、日光へと向かう八王子千人同心が鉢合わせ。かたや日本一の石高の大名家、かたや規模は小さいといえども將軍直属の幕臣たち。「通せ」「通さん」の小競り合い。機転を利かせた東曜寺の御前、加賀のご一行を境内に招き入れお茶のご接待、八王子同心は無事に通過できました。





中山道 69 の宿場

- 1 板橋宿 2 蕨宿 3 浦和宿 4 大宮宿 5 上尾宿 6 桶川宿 7 鴻巣宿 8 熊谷宿 9 深谷宿 10 本庄宿 11 新町宿 12 倉賀野宿 13 高崎宿 14 板鼻宿 15 安中宿 16 松井田宿 17 坂本宿 18 軽井沢宿 19 沓掛宿 20 追分宿

鴻巣宿
問の宿 吹上村

- 21 小田井宿 22 岩村田宿 23 塩名田宿 24 八幡宿 25 望月宿 26 芦田宿 27 長久保宿 28 和田宿 29 下諏訪宿 30 塩尻宿 31 洗馬宿 32 本山宿 33 賛川宿 34 奈良井宿 35 藪原宿 36 宮ノ越宿 37 福島宿 38 上松宿 39 須原宿 40 野尻宿 41 三留野宿 42 妻籠宿 43 馬籠宿 44 落合宿 45 中津川宿 46 大井宿 47 大湫宿



- 48 細久手宿 49 御嶽宿 50 伏見宿 51 太田宿 52 鶴沼宿 53 加納宿 54 河渡宿 55 美江寺宿 56 赤坂宿 57 垂井宿 58 関ヶ原宿 59 今須宿 60 柏原宿 61 醒井宿 62 番場宿 63 鳥居本宿 64 高宮宿 65 愛知川宿 66 武佐宿 67 守山宿 68 草津宿 69 大津宿

おっぱい地蔵



一口火

鴻巣宿の勝願寺の名僧「不残上人」が、隠居寺として中興・居住した勝龍寺。徳川家康公も尊敬した上人のお寺の存在が、吹上の発展の礎となりました。寺紋は鴻巣宿の勝願寺と同じ「三ツ葉葵」の紋。



鴻巣地区



一口火

べつたら塚古墳
古墳の上部が削られ「平らな状態」に、ゆえに親しみをこめて「べつたら塚」と呼ばれています。頂上には「六地藏」が安置されています。

べつたら塚古墳

筑波

第四中仙道踏切
(6ページ参照)

妙徳地蔵

筑波の道標

前砂の道標

前砂の石碑

龍昌寺

一里塚跡

龍昌寺観音堂

一口火

前砂の石碑
江戸時代の絵師・深斎英泉の描いた浮世絵「岐阻街道・鴻巣吹上富士遠望」、鴻巣・吹上間にある村のひとつ、当地「前砂村」で描かれました。

龍昌寺観音堂

第四中仙道踏切

JR 高崎線



妙徳地蔵



つわものの
道をきわめた
箕田源氏

(渡辺綱の彫刻・龍泉作)

一口メモ

渡辺姓のルーツ

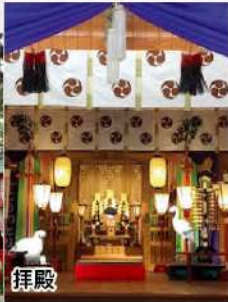
2024 年に開基 1000 年を迎える宝持寺は、嵯峨天皇の子孫で、足立郡箕田郷（現・鴻巣市箕田）で生まれた平安時代の武将「渡辺綱」により開基されました。箕田源氏の一族である「源綱」は、摂津国渡辺（現・大阪市内）に転居してから「渡辺綱」と名のり、全国の「渡辺さん」のルーツとなります。境内には「全国渡辺会」が建てた顕彰碑があります。



宝持寺



鴻神社



拝殿

一口メモ

鴻神社

「鴻巣」の漢字名称の由来となった「このとり伝説」が伝わる鴻神社。「子授け・安産」のみならず、境内には様々なご利益のある境内社も鎮座しています。三狐稻荷社（縁切り・縁結び）・弁天社（女子力向上）・浅間社（子供の成長）・疱瘡神（疫病退散）、などなど。

ひな鳥を
守る社の
コウノトリ



氷川八幡神社

箕田碑「武威武士発祥の地」と記されている。

中山道観光案内板

箕田追分の石碑

箕田追分

追分地藏堂

中宿橋

氷川八幡神社

宝持寺

箕田観音



箕田観音

忍館林道（日光裏街道）

鴻神社

開

鴻神社前

加美

加美の道標

第三中仙道踏切
（6ページ参照）

松山道



追分地藏堂

地藏立像が安置。堂前には庚申塔が祀られている。



箕田追分

追分は
旅人思案の
分かれ道



第三中仙道踏切

● 田沼家の母屋と蔵
（明治初期の建物）



一ロメ

法要寺の狛犬

鴻巣宿の中山道往来（道路上）にあった宿場を守るお社「市神社（いちがみしゃ）」、明治 3（1870）年の大風により祠は飛ばされ跡形もなくなりました。ところが重たい石造りの「狛犬」は無事でした。「市神社」と呼ばれた周辺の町は、もと「お宮」があったことから「宮本町」との名称に改称され現在に至ります。無事だった狛犬は法要寺境内に移されます。台座には、かつての市神社に由来する旧町名「市神街」の文字が残されています。



法要寺

法要寺
一夜の札に
梅鉢紋

猿田彦
悪霊防ぐ
民の神



金剛院

首の病、耳の病にご利益あり。

至
加須



八幡神社

八幡神社

金剛院

至
免許センター
市役所

中山道観光案内板

中仙道
大名行列
和宮

鴻巣駅入口

● 鴻巣宿おとり公園

i 中山道観光案内板

中山道宿場会議
開催記念碑

本陣跡石碑

● 鴻巣御殿跡

本町

勝願寺

本町（南）

是より鴻巣宿石碑

● 鴻巣市産業観光館
ひなの里

i 中山道観光案内板

● 鴻巣宿加宿
上谷新田石碑

深井2

JR 鴻巣駅

JR 高崎線

ひな人形の歴史を紹介



母屋と蔵



勝願寺・山門



なんじゃもんじゃの木

せんだん林
坊さん修行の
学問所

一ロメ

壇村（お坊さんの学校）として有名な浄土宗の寺院。徳川家康公により「三ツ葉葵」紋の使用を許されました。境内には小松姫の墓があります。

田沼家の母屋と蔵は、当代田沼利将氏の高祖父が西南の役に従軍し、明治政府から賜った従軍功労金を原資として明治 12 年に建てられたもの。

※紙面上のかかるた（読み札）は「鴻巣郷土かるた解説書」より転載。

鉄道の「中山道」 ～鴻巣市内の「中仙道踏切」～

JR鴻巣駅の開業は「上野・熊谷間」に鉄道が開通した明治16(1883)年です。東京と京都を結ぶ幹線鉄道としての部分開業であることから、「中山道鉄道」と呼ばれました。街道の「中山道」は、起点である「日本橋」から「熊谷宿」までの間に、「中山道鉄道」と5箇所で交差して踏切が置かれました。現在の駅間で示すと、①浦和・北浦和間「第一中仙道踏切」=さいたま市浦和区内・立体交差化により廃止、②鴻巣・北鴻巣間「第三中仙道踏切(通称:割府の踏切)」、③北鴻巣・吹上間「第四中仙道踏切(通称:筑波の踏切)」、④吹上・行田間「第五中仙道踏切」=両隣の踏切(現在の「榛名陸橋」と「榎戸踏切」)が至近距離にあったため廃止(2ページ左下参照)、⑤行田・熊谷間「第六中仙道踏切」=熊谷市内、の5箇所です。

5箇所のうち3箇所(②③④)が「現・鴻巣市内」の所在ですが、実は鴻巣市内にはもうひとつ、「北本・鴻巣間」に自動車が行き止まりの狭い「第二中仙道踏切」があるのです。中山道は、江戸時代の初めには現在のルートが確認できますが、かつては、北本市の多聞寺付近から鴻巣市の勝願寺門前付近の間を大きく西側に迂回し、高崎線に沿うルートを通っていました。この「中山道古道」の南側の「鉄道横断地点」には踏切は設置されず、北側の「鉄道横断地点」に「第二中仙道踏切」が設置されました。線路の西側の「現・鴻巣市小松4丁目」に、史跡「原馬室の一里塚(西塚)」があるのは、この地がかつての「中山道」であったことを示すものです。街道の対面にあった「東塚」は、鉄道建設時に取り壊され、線路が敷かれました。鴻巣宿から北本方面への「中山道古道ルート」には、山王横丁(中山道「本町(南)交差点」から西へ分岐する市道)を通る説、中山道から勝願寺参道に入り「鴻巣公園の東辺・南辺」を経由して南小学校の校庭を横断していたとする説などの諸説がありますが、残念ながら詳細は不明です。

ところで、踏切の名称は「中山道」ではなく「中仙道」ですが、江戸時代(1716年)に発せられた幕府の通達により、正式名称は「中山道」と定められています。そのため、公的施設・設備の表記は、「中山道」に統一させる作業が進捗中です。踏切名の変更時にはJRが「告示」をするのですが、告示を待たずに、最近になって、「中仙道踏切内に「中山道踏切」と「誤表記?」された保安設備」が設置されています。「中山道踏切」への名称変更の日が近いのかもしれませんが。(栗原俊也)



上: 第二中仙道踏切全景 本誌バックナンバー vol.14「こうのす歴史散歩」古地図を参照下さい。
中: 踏切銘板(正式名称「仙」を表示)
下: 踏切内装置(誤記 or 将来を見据えて「山」を表示)



原馬室の一里塚(西塚)
小松4丁目地内
一里塚(西塚)頂上の「旧・馬室(東塚)跡」を望む
と高崎線(一里馬

子授け
安産
厄除け

こうのすのお宮

鴻神社

〒365-0076 埼玉県鴻巣市本宮町1-9

TEL:048-542-7293/FAX:048-543-2282

<http://www.koujinja.or.jp>



学校法人 鴻巣佐藤学園

鴻巣幼稚園

園長 佐藤 芳隆

〒365-0038 鴻巣市本町6丁目3番4号(東小学校前)

TEL(048)541-0575 FAX(048)543-6222

HP <http://www.kounosu-kg.com/>

f 鴻巣幼稚園

幼稚園専用駐車場完備



なごみのや

NAGOMINOYA

クリアこうのす入口右側

鴻巣市中央 29-1
TEL(048)540-8080



緑に囲まれた明るい雰囲気のレストラン
店内貸切、パーティー料理や
お弁当のケータリングも承ります

営業時間 11:00~17:00

※17時以降は予約制となります

駐車場
あります

380年の伝統 人形のふるさと鴻巣で最大のお店

ひな人形

宏田屋

TEL: 048-541-8888

鴻巣市人形1-6-18 営業時間 9:00~19:00

定休日:5月~10月は月曜日 11月~4月は無休